

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓方	救臨が被災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,759,939	79,612	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
624	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	26	650
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
624	-	624

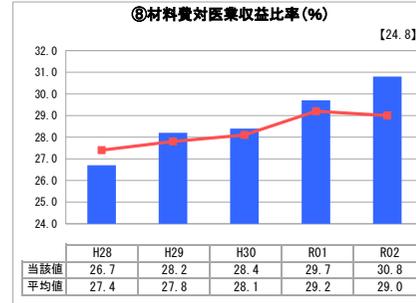
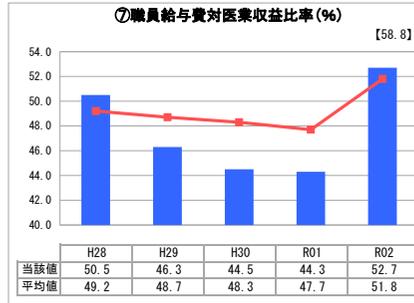
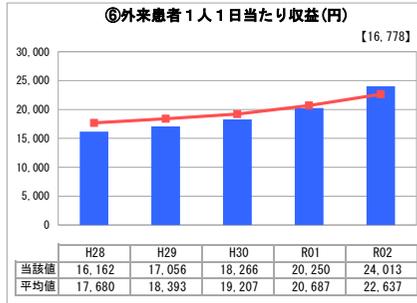
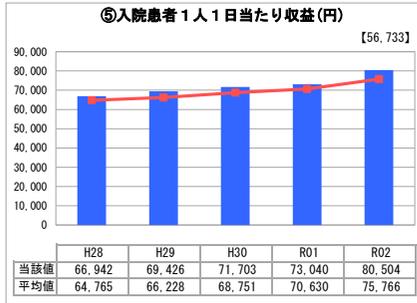
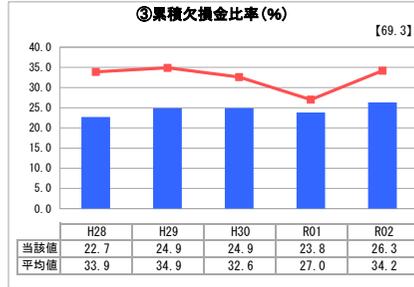
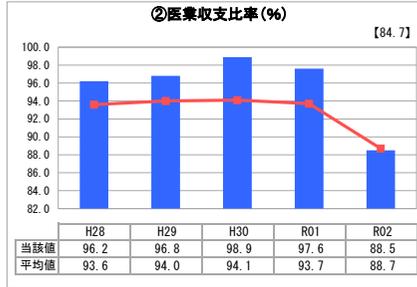
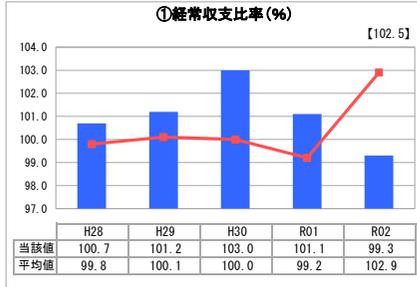
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

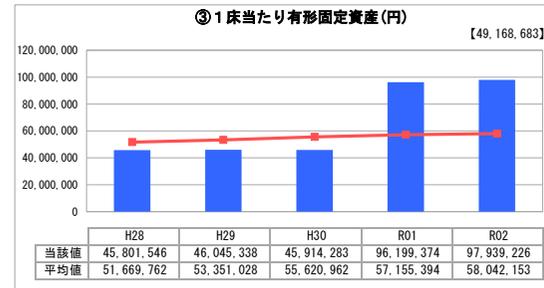
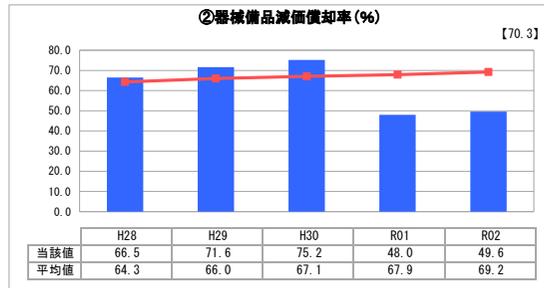
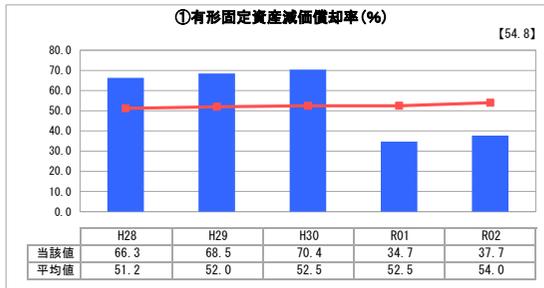
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

高度急性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組む、地域の基幹病院としての役割を果たします。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、新病院移転等による医療機能の向上や新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う補助金などにより増収しましたが、新病院において高度な医療を提供するために行った医師・看護師等の増員や施設・設備の整備に伴う減価償却費の影響などにより、12年ぶりに経常赤字となりました。

提供する医療の高度化に伴い、診療単価が上昇していますが、併せて材料費比率も高まっています。

このため、引き続き一層の医療効率化や経費の適正化を図るとともに、新病院移転により拡充した医療機能を最大限活用し、将来に渡って安定した経営基盤を確立していきます。

2. 老朽化の状況について

昭和35年の開院以降、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の充実や施設の増改築を行ってきました。

施設の狭小化や老朽化が著しいため、再整備事業を行い、令和2年5月に新病院を開院しました。

全体総括

今後も一層の医療機能の充実を進めることで新入院患者を確保し、収益力を向上させるほか、材料費等の経費の適正化を図ることなどにより、持続可能な経営を確保します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊髄センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドI 訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,759,939	38,737	非該当	非該当	7：1

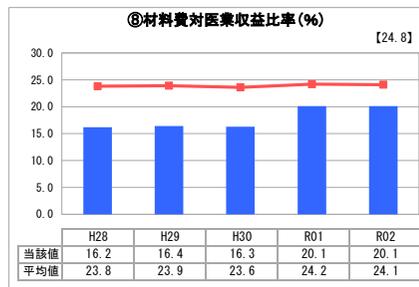
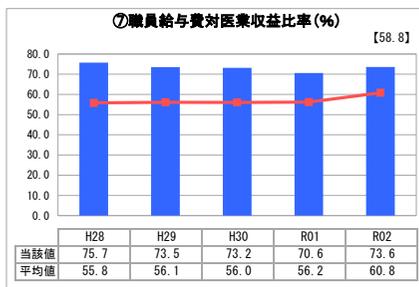
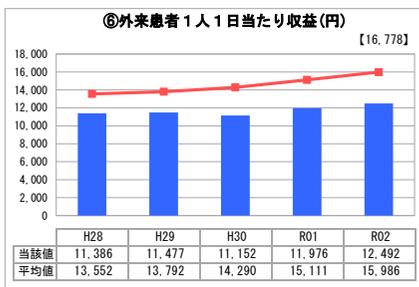
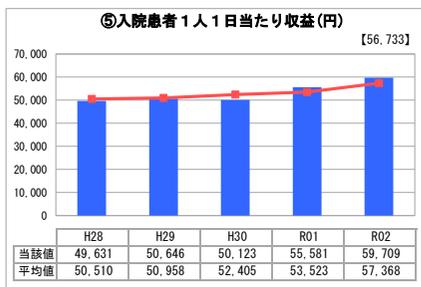
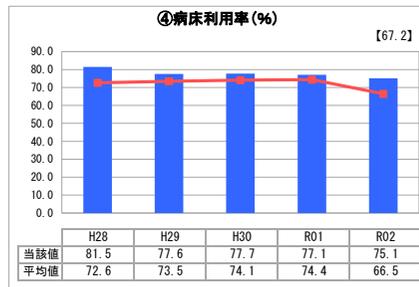
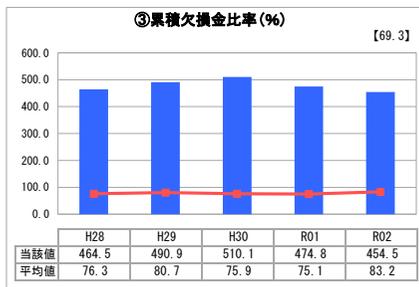
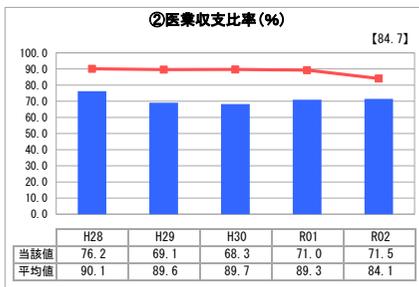
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

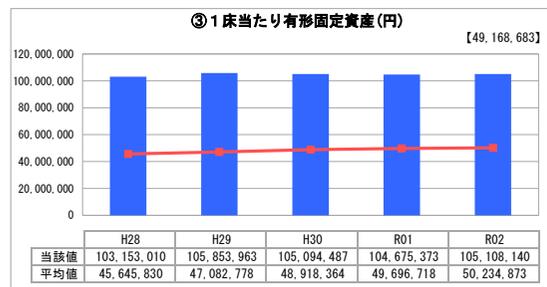
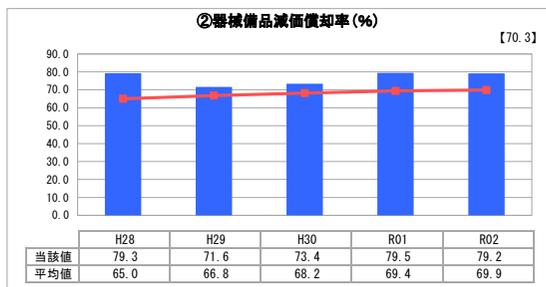
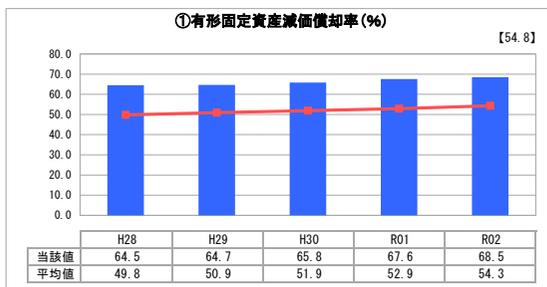
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

政策的医療を含む中枢神経全般に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊椎脊髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取り組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

脳血管疾患に加え、神経・脊椎脊髄分野に診療機能を拡大したことなどにより、平成27年度に経常黒字となった後、入院患者数が伸び悩み、平成28年度以降は経常赤字が続いていました。令和2年度は、入院収益の増収や新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う補助金等により、5年ぶりに経常黒字となりました。

2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から20年以上が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

全体総括

平成30年から新たに、膝関節疾患にも診療機能を拡充したほか、他病院との円滑な連携により、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟の利用率向上を図ることなどにより、新規入院患者の確保を行い、経常黒字化を目指します。

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県横浜市 みなと赤十字病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	36	対象	ド透I未訓ガ	救臨が災地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,759,939	74,148	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

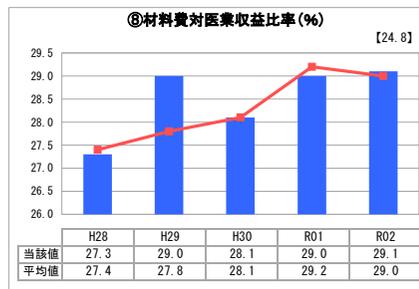
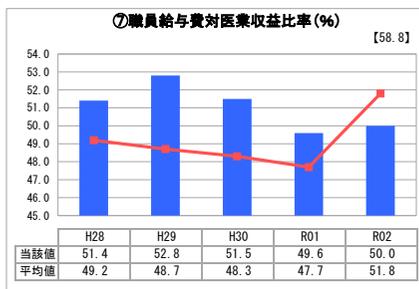
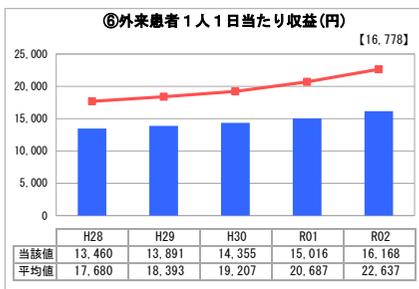
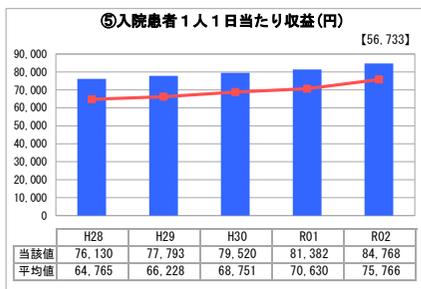
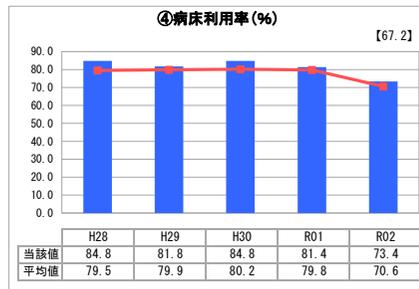
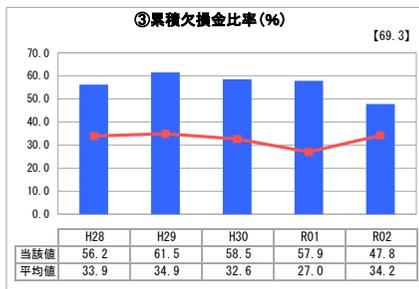
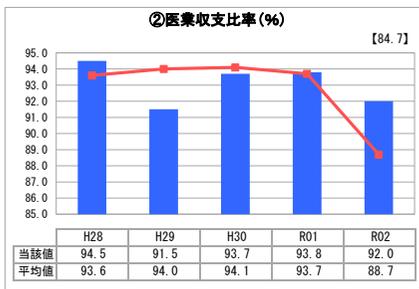
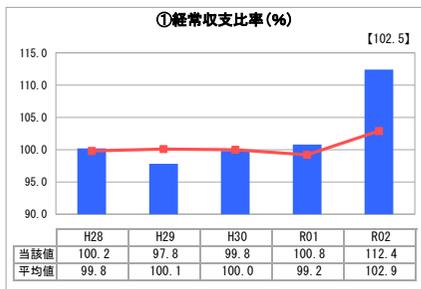
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
584	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	-	634
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
584	-	584

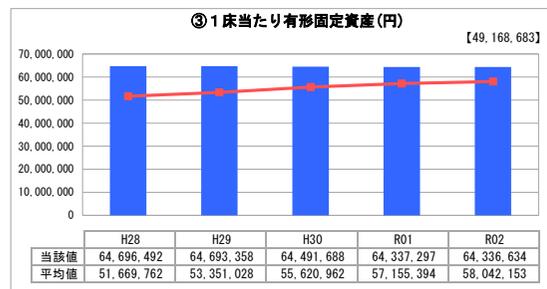
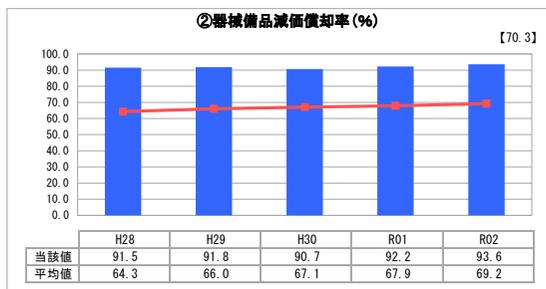
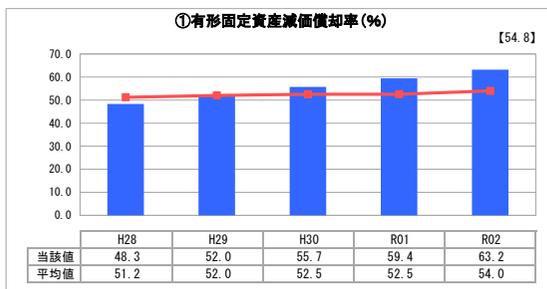
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

日本赤十字社を指定管理者とし、本市との協定に基づいて「救急」「精神科救急」「合併症医療」「アレルギー疾患」「災害時医療」などの政策的医療を安定的に提供しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少により、医業収益は減少しましたが、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに伴う補助金等により、経常黒字となりました。

※本経営指標は、指定管理者である日本赤十字社が運営するみなと赤十字病院にかかる決算と横浜市病院事業会計を合算し、双方にかかる内部取引を相殺した数値を基に作成されています。

2. 老朽化の状況について

平成17年開院であり、比較的新しい施設設備ですが、適切な修繕計画に基づき、設備の更新等を実施していきます。

全体総括

引き続き全国トップクラスである、救急の受け入れの更なる強化や、循環器分野等における最先端の医療を提供するなど、経営改善の取組を進めることで経常黒字を維持します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。